



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

2024年1月19日

2024年3月期第3四半期決算説明資料

- ◆ 売上高は微減も、売上総利益以下は前年同期比で大きく減少
- ◆ 当初パチンコホール広告分野の業績反転を予想するも、昨年10月以降成長軌道への回帰シナリオは後退
- ◆ パチンコホール広告分野において、昨年10月から施行されたステルスマーケティング規制により、当3Qのインターネット広告需要は急減
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に成長
- ◆ 人的資本への投資の結果、人件費の増加を主因として販売費及び一般管理費は前年同期を上回り推移

2024年3月期 第3四半期業績の状況(対前期比)

(単位:百万円)

	前第3四半期		当第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,719	100.0%	5,710	100.0%	-8	-0.2%
(参考)総取扱高※	(6,274)	-	(6,406)	-	131	2.1%
売上総利益	1,739	30.4%	1,694	29.7%	-44	-2.6%
営業利益	350	6.1%	244	4.3%	-106	-30.2%
経常利益	364	6.4%	248	4.4%	-116	-31.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	293	5.1%	158	2.8%	-135	-46.1%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

> 結果

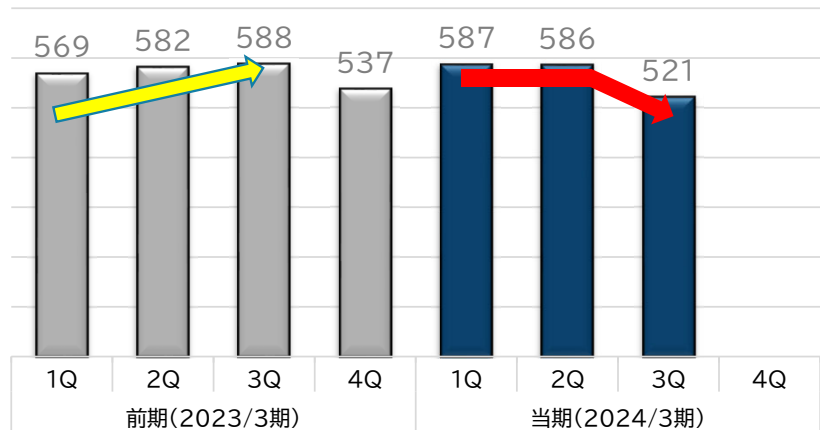
- ◆ 売上高は微減、売上総利益以下は減少

> 要因

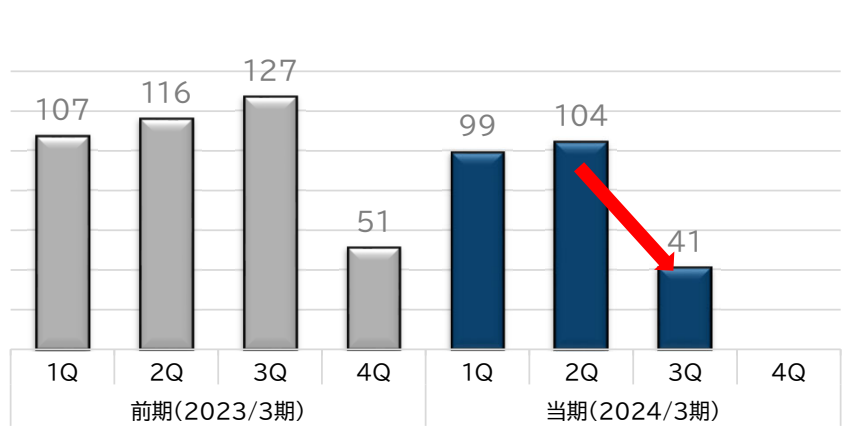
- ◆ 10月以降ステマ規制の影響により、パチンコホール広告分野の受注が急減
- ◆ 主として期首の人員増、賃上げ等により人件費が増加
- ◆ 営業利益の減少、繰延税金資産の一部取り崩しにより四半期純利益は大きく減少

四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)

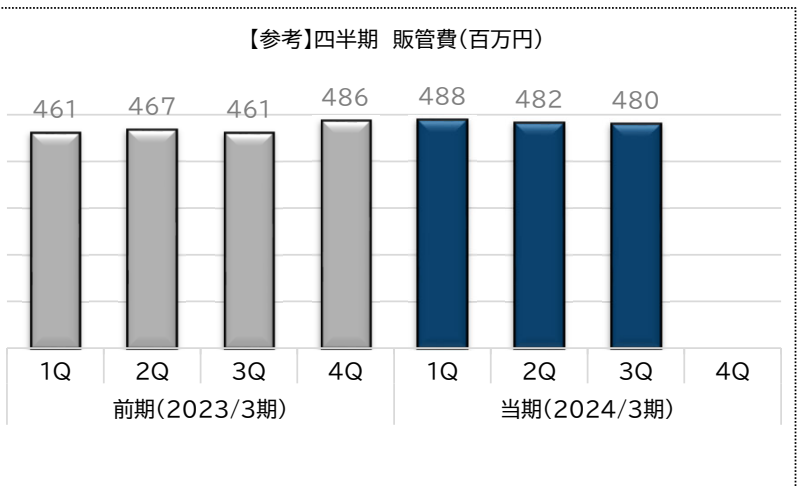
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 当第3四半期の売上総利益は前年同期比で大きく減少
- ◆ 期首の人員増、賃上実施等により販売費及び一般管理費は増加
- ◆ 結果、営業利益は前年同期を大きく減少

事業の種類別セグメントの状況

【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	5,648	56	6	0	5,710
セグメント利益	432	25	-4	-209	244

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	-24	+18	-2	-	-8
セグメント利益	-87	+10	-4	-25	-106

- ◆ 広告事業はパチンコホール分野が大きく低迷
- ◆ 不動産事業は仲介手数料収益計上により昨対で大きく増加
- ◆ 主として売上総利益の減少、人件費の増加によりセグメント利益は減少

セグメント損益(広告事業)

(単位:百万円)

広告事業	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	5,672	5,648	-24	-0.4%
(参考)総取扱高※	6,228	6,344	116	1.9%
セグメント利益	519	432	-87	-16.9%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

外部環境>

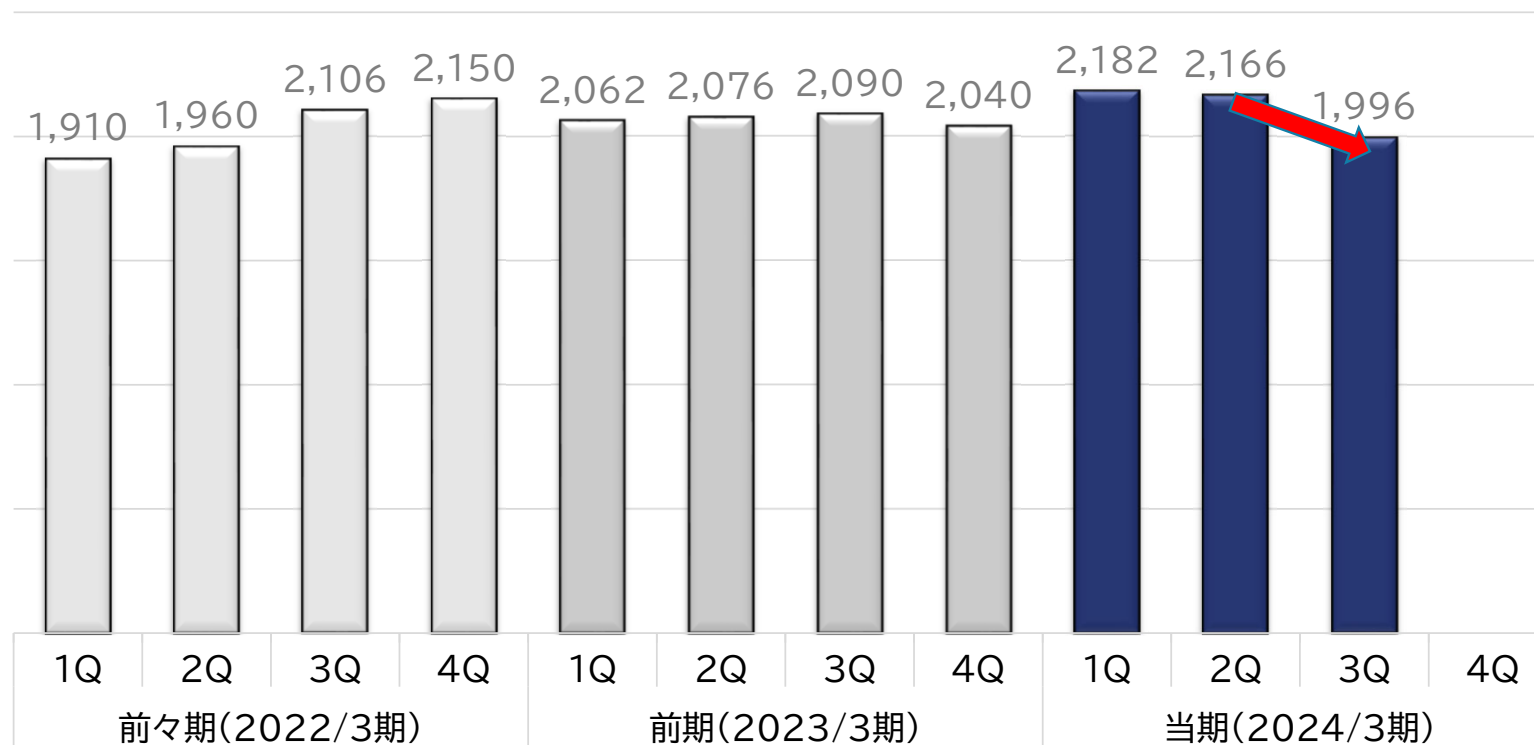
- ◆ パチンコホール施設:
10月以降ステマ規制の影響によりインフルエンサー広告の受注が急減
投資資金確保のため、広告費の抑制は継続
- ◆ パチンコホール以外の広告分野:
広告受注は引き続き増加基調

当社グループの取り組み>

- ◆ 年末広告需要の最大化
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける新規顧客開拓

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)



※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

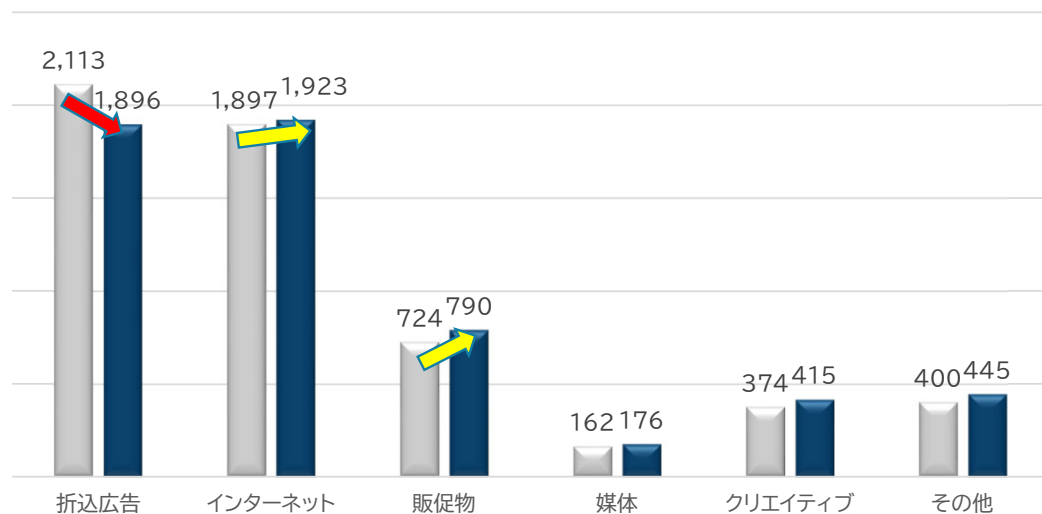
- ◆ パチンコホール広告分野が低迷
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第3四半期		当第3四半期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
折込広告	2,113	37.3%	1,896	33.6%	-216	-10.2%	-3.7 pt
インターネット	1,897	33.4%	1,923	34.0%	27	1.4%	0.6 pt
販促物	724	12.8%	790	14.0%	65	9.1%	1.2 pt
媒体	162	2.9%	176	3.1%	13	8.5%	0.2 pt
クリエイティブ	374	6.6%	415	7.4%	40	10.9%	0.8 pt
その他	400	7.1%	445	7.9%	45	11.3%	0.8 pt
合計	5,672	100.0%	5,648	100.0%	-24	-0.4%	

品目別売上高(百万円)



- ◆ 折込広告は引き続き減少トレンド
- ◆ インフルエンサー広告の急減により、インターネット広告の成長が鈍化
- ◆ 話題機種を導入により販促物が増加

業種別総取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第3四半期		当第3四半期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	3,919	62.9%	3,757	59.2%	-162	-4.1%
パチンコホール以外の広告分野	2,309	37.1%	2,586	40.8%	277	12.0%
合計	6,228	100.0%	6,344	100.0%	116	1.9%



- ◆ パチンコホール広告は当第3四半期の受注急減により前年同期を大きく減少
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に増加

セグメント損益(不動産事業)

(単位:百万円)

不動産事業	前第3四半期	当第3四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	38	56	18	47.4%
営業費用	23	31	8	34.8%
セグメント利益	15	25	10	70.5%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、パチンコホール跡地の売買仲介等に伴う手数料収益17百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は56百万円(前年同期比47.4%増)
セグメント利益は25百万円(前年同期比70.5%増)

連結貸借対照表

	(単位:百万円)		差額 (B)-(A)
	前期末 (A)	当第3四半期末 (B)	
現金及び預金	3,735	3,450	-284
売上債権	988	1,055	66
有価証券	-	58	58
その他流動資産	122	90	-31
有形・無形固定資産	714	731	17
投資その他資産	495	237	-257
資産合計	6,056	5,624	-431
買掛金	555	612	57
短期・長期借入金	850	668	-181
未払法人税等	59	25	-34
その他の負債	202	199	-2
負債合計	1,667	1,506	-161
株主資本	4,385	4,112	-273
その他	3	5	2
純資産合計	4,389	4,118	-270
負債・純資産合計	6,056	5,624	-431

.....> 自己株式の取得等による減少

.....> 返済による減少

.....> [・当四半期純利益+158百万円
・自己株式の取得△218百万円
・利益配当△213百万円]

連結業績予想の修正と進捗に関して

(単位:百万円)

	当第3四半期実績 (A)	通期予想(B) ※2023年4月14日発表	通期予想(C) ※2024年1月19日発表	増減額(D) (C)-(B)	増減率 (D)÷(B)	進捗率 (A)÷(C)
売上高	5,710	8,000	7,500	-500	-6.3%	76.1%
営業利益	244	500	280	-220	-44.0%	87.3%
経常利益	248	500	280	-220	-44.0%	88.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	158	400	180	-220	-55.0%	88.0%

- ◆ 販売費及び一般管理費は当初予想通り推移するも、売上総利益が当初予想より大きく減少
- ◆ 売上総利益の減少は、パチンコホール広告分野における、昨年10月以降の広告需要急減が主因
- ◆ 繰延税金資産の一部取り崩し(△21百万円)があったことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想より大きく減少
- ◆ 今回の業績予想修正に伴う配当予想の修正はなし

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334